

ご挨拶

日頃より市民の皆様にはご支援を賜りありがとうございます。

私は市議会議員となり 3 年目に入りました。これも皆様の応援・協力のお陰と心より感謝申し上げます。

このたび役割の改選があり、文教常任委員会副委員長、議会報編集委員会副委員長、環境審議会を受け持つことになりました。新たな委員会に所属したことで更に学びの視野を広げながら、市民の皆様に寄添って参りますので、更なるご支援ご協力をお願い致します。

さて、皆様の中には新庁舎完成後まだ一度も来庁していない方もいらっしゃると思われま

ことと思われま。是非、議会傍聴がてら、お気軽に見学いらして下さい。(9月議会 9/1~9/29)

これからしばらくは暑い日が続きますので、熱中症などかからないようくれぐれもご自愛ください。

<第2回 定例会の一般質問より>



**Q、幼児教育について！市立幼稚園のあり方と今後の展望について**

現状・・・市立幼稚園の園児数は昭和 53 年度の 3,210 名をピークに減少の一途をたどり、平成 29 年 5 月 1 日現在では、こども園の 1 号認定こどもいわゆる幼稚園教育対象児の数を含み 679 名と定員を大きく下回り、本市が目指す集団教育の観点からも課題が生じてきている。

今後・・・多様化する時代の中で柔軟に対応できるこども園へと再編し、幼稚園、保育所の機能だけでなく、在宅家庭への支援も含め、地域の子育ち・子育ての拠点とする。さらに、「子ども・子育て支援新制度」における 1 号認定こどもの教育として、3 歳児の受け入れをこども園において可能として行く。



**Q、七中学区における既存の施設を活用した新たなこども園整備について**

幼稚園名	平成 29 年度			平成 28 年度			平成 27 年度		
	定員	在籍園児数	在籍率	定員	在籍園児数	在籍率	定員	在籍園児数	在籍率
秋津	210	32	15.2%	210	28	13.3%	210	19	9.0%
香澄	175	13	7.4%	175	25	14.3%	175	38	21.7%

○市立秋津・香澄幼稚園の入園者数の減少傾向が続き、今後も園児数の増加は見込めないことから、市が目指す集団教育の観点や幼稚園行事などの運営面から課題となっている。そこで、香澄幼稚園を一部改修し、3 歳児からのこども園として、平成 31 年度より開設する検討をしていることが、明らかにされました。

●私個人としては、秋津幼稚園の施設を活用してもらいたい。二つの施設から選択する以上、選ばれなかった地域からは、不満が出る。決定に至るまでは、学校を支えて下さる地域の視点に立った方針と議論をすると共に周知徹底を。更に、選択されない施設の跡地活用も同様、地域との協議を重ねるよう強く要望しました。





## J R京葉線新駅の進捗状況と新習志野駅周辺の県所有地活用と他・・・地域雇用期待！

- 幕張新都心に予定されている J R京葉線の新駅・・・概算事業費 約 180 億円、概算工期は新駅に約 6 年、自由通路に約 7 年かかる予定。2020 年の東京オリンピック・パラリンピックには間に合わない状況です。
- 新習志野駅前 商業施設用地・・・三井住友ファイナンス&リース(株)及び(株)ミスターマックスを構成企業とする共同企業体が土地を取得して継続営業！！

現在のミスターマックスに新しく加わる機能  
 キャビン型宿泊施設・・・増築  
 日帰り入浴も楽しめる温浴施設・・・増築  
 (譲渡取得後の平成 32 年 5 月着工予定)

現在の状況➡



- 芝園 1 丁目の日産カレスト(株)・・・現在、一部が(株) I D O M、旧(株)ガリバーインターナショナルに転貸借、(株)カインズが次期事業予定者に決定。(平成 30 年 2 月 7 日～平成 50 年 2 月 6 日まで事業用定期借地権契約)
- 東洋エンジニアリング(株)駐車場跡地

物流施設(倉庫業を含む倉庫)..  
 敷地面積...約 19,300 ㎡  
 鉄骨造...地上 4 階建て  
 延べ床面積...約 39,100 ㎡  
 マルチテナント型物流施設

駐車場跡地の工事状況➡



- ポートピア習志野駐車場跡地の土地活用・・・現状の平置き駐車場を立体駐車場に変更し、余剰地を売却。  
 売却先 東京都競馬(株)  
 事業展開先 東京倉庫(株) (東京競馬(株)のグループ会社、品川区勝島地区を中心に倉庫賃貸業を展開)  
 敷地面積 17,179 ㎡ 地上 4 階建て 平成 30 年末までに建設予定



### 継続して取り組んでおります！

#### ●習志野市役所、京成津田沼駅方面行きのバス運行要望

秋津地区における交通空白地域はもちろん、地域全体としても習志野市役所や京成津田沼駅方面への足の確保が課題となっております。現在、辛うじて福祉ゾーン付近まで出て、ハッピーバスに乗るしかない状況であります。ハッピーバスの延伸を希望しても、遅延と市経費の関係から不可能の回答ばかりです。地域の高齢化が進む中、望みは既存バス機関での運行に託すしかありません。現在も担当課を通して、既存バス事業者に粘り強く、交渉してもらっております。

#### ●谷津干潟沿いの道路幅の拡張要望

谷津干潟周辺は、遊歩道が整備されておりますが、自転車走行は禁止されております。県立津田沼高校の裏側は、道路幅が狭いことで、危険を承知での自転車走行や迂回しての自転車走行を強いられる状況にあります。秋津地区では長年、地域要望として挙げられております。そこで、県立津田沼高校敷地を買上げ、道路幅拡張することで、市民の安全確保に努めて頂けるよう要望しております。

皆様からのご意見・ご要望は、FAX 047-452-0781 に お願い致します。